

「くまもとの食」を次世代へ！

- 熊本市では、第4次熊本市食の安全安心・食育推進計画(令和6年度～令和17年度)において、「『くまもとらしさ』を活かした食育の推進」を計画目標の一つとして掲げ、「持続可能な食を支える食育の推進」の計画方針の下、「熊本の食文化の伝承」の施策推進を図っている。
- 「市民食育講演会」を開催し、郷土料理への理解を深めること、伝統的な和食文化を次世代に継承することが、食の持続可能性を支えることに繋がることの認識を深める機会を創出した。

熊本県

©DESIGNALIKIE

【取組の内容】

- 市民食育講演会
熊本市民を対象に、和食文化に知見を有する講師を招聘し、和食文化の魅力と次世代への継承の重要性について学んだ。

(講師)

梅花女子大学 食文化学部食文化学科 教授 東四柳 祥子 氏
 ・(一社)和食文化国民会議 調査・研究部会幹事
 ・文化庁文化審議会文化財分科会第六専門調査会委員

(演題)

次世代に伝えたい和食文化の魅力
 ~ 美味しさと多彩さのルーツを探る ~



講演会の様子



参加者からの質問

【取組の成果】

- 市民食育講演会

参加者からは、「日本の食文化について歴史的背景とともに学ぶことができた」「和食文化について学び、和食・郷土料理を継承する大切さを改めて感じた」等の意見があり、和食を継承する重要性を伝えられた。

【事業の目標】

①食文化の継承度

- ・事業実施前 : 59.1%
- ・事業実施後 : 70.1%

②産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

- ・事業実施前 : 69.8%
- ・事業実施後 : 88.4%

